



# お互いに助け合う 「結いの心」

キーワード  
【健康・福祉】  
Health & Welfare



「結いの心」があります。  
これは、年代やジャンルを問わず、  
生活には欠かせないものです。

田野畑村には、昔から引き継がれてきた

現在、田野畑村における65歳以上の高齢者比率は約30パーセント。対する出生数が年間30人弱で、今後も少子・高齢化は進んでいくと考えられます。また、人暮らしの高齢者世帯も全世帯の1割近くを占める120にのぼり、二人暮らしなどの高齢者夫婦世帯も140。ここではい

早く高齢化対策へ取り組み、田野畑の取り組みをご紹介します。

高齢者福祉の拠点となるのは、平成4年に開所した特別養護老人ホーム「寿生苑」。運営主体の社会福祉法人寿生会では、入所者の生活支援はもちろんショートステイにも対応。また訪問介護や居宅介護、介護相談窓口など、村の診療所・保健センターとも連携した幅広いサービスを展開しています。平成16年には多様化する利用者ニーズに合わせてデイサービスの拡大を図り、さらに施設も、グループホームたのはた「虹の家」と、田野畑村生活支援ハウス「かけはし」が新たに設置されました。

施設の充実もさることながら、寝たきりにならない生活も重要と考え、保健センターの運動療法室にトレーニングマシンを導入。宮古第一病院から理学療法士の派遣を受け、エアロバイクなどの有酸素運動を取り入れたハイリハビリにいち早く取り組んでいます。さらに同センター内の「地域包括支援センター」では、一人暮らしの高齢者世帯の「見守り」ネットワークを構築するための関係者の協議が始まっています。

田野畑には、今も「結ゆい」という地域協働の精神が残っています。これは福祉の基本、助け合いにも通じるもの。すべての村民が安心して暮らせる社会の下地は、ここに整っています。

田野畑村では一人暮らしの高齢者が孤立しない環境づくりに取り組んでいます。デイサービスの拡大はもちろんスタッフとの日常的なふれあいも重要



歯科診療所では、医療から保健事業まで幅広く対応しています



村民のかかりつけ医となっている医科診療所の診察風景



パワーリハビリは自分の体力に合わせて取り組みます